

九州歯科技工専門学校学校関係者評価結果（令和7年度）

評価対象期間：令和6年11月1日～令和7年10月31日

評価日：令和7年11月24日

評価者：藤谷 正峰、柴田 直、谷川 正彦、田中 正剛

（1）教育理念・目標

評価項目	評点
学校の理念・目的・育成人材像は定められているか	5
理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが生徒・保護者等に周知されているか	5
（特記事項） SNSの宣伝活動や高校訪問といった活動ではあるが、学校の特色や歯科技工士像の内容がよく周知されていると思われる。	

（2）学校運営

評価項目	評点
目的等に沿った運営方針が策定されているか	4
運営方針に沿った事業計画が策定されているか	4
運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、また、有効に機能しているか	4
人事・給与に関する規定等は整備されているか	3
教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	4
業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	5
教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	5
情報システム化等による業務の効率化が図れているか	3
（特記事項） 地域の歯科技工所との密な連携を今年度も継続してみられ、ともに優秀な人材の排出や歯科技工業界を良くしていこうという気持ちがこの1年も感じられた。また、今年は生徒の大幅な入学者数増加が見込まれ、今までの運営方針に沿った行動が正しい方向であったことがわかる。これからも継続していただきたい。	

(3) 教育活動

評価項目	評点
教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	4
教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	5
学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4
キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	5
関連分野の企業・関係施設等、業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	5
関連分野における実践的な職業教育（産学連携による職業体験・インターンシップ、実技・実習等）が体系的に位置づけられているか	4
職業教育等に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	4
成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	5
資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	5
人材育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	4
関連分野における業界等との連携において優れた教員（本務・兼務含む）を確保するなどマネジメントが行われているか	5
関連分野における先端的な知識・技能等を習得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取り組みが行われているか	5
職員の能力開発のための研修等が行われているか	5
(特記事項) クラウン・ブリッジ、義歯、インプラント技工等の自費技工を得意とする教員を雇用できたのは非常にいいことで、今後さらなる授業のグレードアップが期待できそうである。デジタル歯科技工関連機器の拡充も継続的に行われ、最先端の歯科技工についても学べる環境整備ができたことは非常にいいことである。また、学科においても、全国模試で表彰されるなど、学科・技術の両方においていい方向に向かっているので今後も継続していただきたい。	

(4) 学修成果

評価項目	評点
就職率の向上が図られているか	5
資格取得率の向上が図られているか	5
退学率の低減が図られているか	5
卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	5
(特記事項) 国家試験合格率については、合格率 100%を維持し、全国模擬試験で全国上位の維持や彫刻コンテスト全国大会予選通過なども達成でき、非常に良い結果であると思われる。 次年度以降もこれを継続して行えるようにしていただきたい。	

(5) 学生支援

評価項目	評点
進路・就職に関する支援体制は整備されているか	5
学生相談に関する体制は整備されているか	5
学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	4
保護者と適切に連携しているか	5
社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	5
企業等との連携によるキャリア教育・職業教育の取り組みが行われているか	5
(特記事項) 今年の企業説明会も各企業からの様々なプレゼンによって学生にとって非常に有意義であるものになった。また、1年生の学生も出席させることで非常に刺激になったことだと思う。また、新卒生の離職率が多い昨今で、本校卒業生は最近では殆ど離職が起きてないのは、在学時からのきめの細かい個人面談による最適な進路指導が功を奏していると考えられる。	

(6) 教育環境

評価項目	評点
施設・整備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	5
学内外の実習施設、インターンシップ等について十分な教育体制を整備しているか	5
防災に対する体制は整備されているか	3
(特記事項) 今年度は補助金を用いて加工機 1 式、CAD ソフトの追加整備、老朽化した機器の入れ替えを行い、校舎に関しては、実習室の改装や、休憩室の改装と、着実に年々環境整備が整えられているので、継続して魅力ある学校作りをしていただきたい。	

(7) 学生の受け入れ募集

評価項目	評点
学生募集活動は、適正に行われているか	5
学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	5
学納金は妥当なものとなっているか	5
(特記事項) 今年度も土曜・日曜に積極的にオープンキャンパスや SNS での発信を地道に継続した結果、現時点で定員を超える入学希望者を集めたので、この調子で継続していただきたい。また高校訪問も積極的に行っているとのことなので、これも継続していただきたい。	

(8) 財務

評価項目	評点
財務状況を教職員が把握できているか	4
(特記事項) 特に問題はみられない。	

(9) 法令等の遵守

評価項目	評点
法令、専修学校設置基準等の遵守および適切な運営がなされているか	5
自己評価結果を公開しているか	5
個人情報に関してその保護のための対策は行っているか	5
(特記事項) 自己評価および本評価をきちんと分析して学校運営に役立てていただきたい。	

(10) 社会貢献・地域貢献

評価項目	評点
地域のボランティア活動等に参加しているか	5
(特記事項) 飯塚山笠参加や近隣のコミュニティセンターでの出展を行い、地域交流を深めた。山笠は学生も参加した。 また、今年度も引き続き厚労省補助金事業の中で、デジタル歯科技工とインプラント歯科技工のセミナーを行った。また、デジタル義歯に関するシンポジウムも行い、大成功を収めた。	

(11) 国際交流

評価項目	評点
海外のデンタルショー等に参加しているか	3
(特記事項) 令和7年11月に行われた上海デンタルショーおよび上海歯科国際会議に本校教員が視察に行き、海外の最新歯科事情等を収集してきた。他の職員にも情報共有し、学生にも必要な情報を教授してほしい。	

(12) 総評

今年度はセミナー2種類にシンポジウム、更には山笠参加、企業説明会開催、文化祭（在校生以外の参加可能）、コミュニティセンターにおける出展といった大きなイベントが多数あったが、いずれも大盛況を収めた。とてもいい方向を向いて学校が伸びている感じがするので、次年度以降も継続して行っていただきたい。やはり、活気あふれる学校というのは魅力の1つであるので、学生獲得のためにも、全校生徒・教職員一丸で頑張してほしい。

【採点基準】

5：非常に良い、4：良い、3：普通、2：悪い、1：非常に悪い、—：非該当